

「信じることは見ること」

ヨハネの福音書4章46～54節

1

イエスは再びガリラヤのカナに行かれた。そこは、かつて水をぶどう酒にされた所である。さて、カペナウムに病気の息子がいる王室の役人がいた。この人は、イエスがユダヤからガリラヤに来られたと聞いて、イエスのところへ行き、下って来て息子をいやして下さるようお願いした。息子が死にかかっていたからである。そこで、イエスは彼に言われた。「あなたがたは、しるしと不思議を見ないかぎり決して信じない。」その王室の役人はイエスに言った。「主よ。どうか私の子どもが死なないうちに下って来てください。」イエスは彼に言われた。「帰って行きなさい。あなたの息子は直っています。」その人はイエスが言われたことばを信じて、帰途についた。ヨハネ4:46-50

2

彼が下って行く途中、そのしもべたちが彼に出会って、彼の息子が直ったことを告げた。そこで子どもがよくなった時刻を彼らに尋ねると、「きのう、第七時に熱がひきました」と言った。それで父親は、イエスが「あなたの息子は直っている」と言われた時刻と同じであることを知った。そして彼自身と彼の家の者がみな信じた。イエスはユダヤを去ってガリラヤに入られてから、またこのことを第二のしるしとして行われたのである。ヨハネ4:50-54

3

自分限界を知った王室の役人

- 「いくら豊かな人でも、その人のいのちは財産にあるのではない。」 ルカ12:15
- 「愚かな金持ちのとえ」 ルカ12:16-21
- 「自分のためにたくわえても、神の前に富まない者はこのとおりです。」 ルカ12:21
- 「自分の財産をもって彼らに仕えているヘロデの執事クーザの妻ヨハンナ、スザンナその他大勢の女たちもいっしょであった。」 ルカ8:3

4

自分の限界を知った王室の役人

- 「あなたがたは、しるしと不思議を見ない限り決して信じない。」ヨハネ4:48 自分中心の信仰。
- イエス様にほめられた外国人の百人隊長の信仰
- しかし、百人隊長は答えて言った。「主よ。あなたを私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。ただ、おことばを下さい。そうすれば、私のしもべは直ります。と申しますのは、私も権威の下にある者ですが、私自身の下にも兵士たちがいて、そのひとりに『行け』と言えは行きますし、別の者に『来い』と言えは来ます。また、しもべに『これをせよ』と言えは、そのとおりいたします。」イエスは、これを聞いて驚かれました。来た人たちにこう言われた。「まことに、あなたがたに告げます。わたしはイスラエルのうちのだれにも、このような信仰を見たことがありません。」 マタイ8:8-10

5

成長する役人の信仰

- 「息子が死なないうちに来てください。」
- 「帰って行きなさい。あなたの息子は直っています。」 4:49-50
- イエスが言われたことばを信じて、帰途についた。(従った) 4:50
- 感情、感覚、フィーリングよりも確かな神のことば。
- 神は不完全な信仰を受け入れてくださる。

6

信仰(信頼)を求める神

- 「苦しい時の神頼み」は良いきっかけになる
- 神の恵み、神の「愛の警告ランプ」
- 苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました。詩119:71
- そして、彼自身と彼の家の者がみな信じた。4:53
- 成長する信仰と成長しない信仰。

7

聖書の奇跡はしるし

この書には書かれていないが、まだほかの多くのしるしをも、イエスは弟子たちの前でなされた。しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである
ヨハネ20:30-31

8

見えない神を見せるために

- すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。ヨハネ1:3
- すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。この方はもともと世におられ世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。ヨハネ1:9-10
- しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子ともとされる特権をお与えになった。ヨハネ1:12

9

見えない神を見せるために

- 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。ヨハネ3:16
- 神はあなたをどれほど愛しているかを示すがイエス・キリストの十字架。
- 十字架は神の愛のしるし、証(あかし)。

10

あなたも神の愛の奇跡(しるし)

あたりまえ
こんなすばらしいことを、みんなはなぜよるこばないのでしょう。あたりまえであることを
お父さんがいる、お母さんがいる
手が二本あって、足が二本ある、行きたいところへ自分で歩いてゆける
手をのばせばなんでもとれる、音がきこえて声ができる、こんなしあわせはあるでしょうか、、、
そのありがたさを知っているのは、それを失くした人たちだけ
なぜでしょう、あたりまえ
井村和清(かずきよ) 医師、がんのために31歳で逝去

11

しるしに従って神のもとへ

- エデンの園で私たちの先祖は神にノーと言った。神を追い出した。それがこの世のわざわいのもと。
- 「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」マタイ4:17 帰って来なさい！天国に入りなさい！
- 天国は死んでから入るところではなく、生きているうちに入る神との関係
- その関係は死んでも続く、永遠のいのち
- 生きよ！永遠に生きよ！

12